

## 平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ  
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月10日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 前田 和彦  
 (氏名) 伊藤 嘉浩

TEL 052-249-3504

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	19,795	△4.0	△26	—	△209	—	△207	—
26年5月期第3四半期	20,630	18.0	566	108.4	340	529.7	154	—

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 ー百万円 (ー%) 26年5月期第3四半期 ー百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	△141.25	—
26年5月期第3四半期	105.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	20,339	4,764	22.5	3,118.13
26年5月期	25,200	4,968	19.1	3,283.55

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 4,574百万円 26年5月期 4,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,449	3.3	672	△22.1	396	△29.3	185	0.0	126.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年5月期3Q	1,480,000 株	26年5月期	1,480,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年5月期3Q	12,800 株	26年5月期	12,800 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期3Q	1,467,200 株	26年5月期3Q	1,467,200 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における東海地域の経済は、円安を背景として、輸出は前年同時期と比べて高めの水準で推移するとともに、設備投資が増加し、回復基調が続きました。また、雇用・所得環境が改善する中、個人消費は持ち直してきており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も、全体としては概ね収束してきました。

直近の新設住宅着工戸数につきましては、消費税率引き上げを控えていた前年同時期と比べて大幅に減少して推移し、個人消費は持ち直し基調であるものの、消費者の住宅に対する購買行動は依然として慎重であり、受注環境は非常に厳しい状況で推移しました。消費税率引き上げ前における戸建分譲住宅の大幅な着工増により市場の需給バランスが崩れ、その調整が想定以上に長引いています。

長期的な視点で見ますと、現在の住宅産業は変節点を迎えており、事業方向を広角にしていく必要があります。当グループは、住宅生産事業者として集成材工場及びプレカット工場を保有することの優位性を活かし、住宅建設の工場化・工業化を推し進めるとともに、周辺分野である木造フレームと副資材販売等に事業を展開するための準備を進めてまいりました。その取り組みの一環がモデルハウスと部材展示場を併設した「ニホンのくらし 名古屋東展示場」(名古屋市守山区/平成27年3月開設)であり、この展示場を営業拠点として、これまで休止していた注文住宅の受注活動を再開するとともに、工務店や建材商社向けの住宅部材販売を拡大していきます。今後更に商品開発を推し進め、売上を拡げる施策を講じていく所存です。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 住宅事業

主力事業である住宅事業では、前期に生じた職人不足による施工現場の混乱は終息し、計画的に生産を行えるようになりました。営業面においては、物件の間合せから契約に至るお客さま情報管理の高度化を進め、科学的手法による営業管理が定着してきました。受注環境の厳しさが長引く中であって積極的な販売活動を行い、販売戸数は前年同期並みに進捗しましたが、販売価格の見直し等を行って在庫処理を進めたことにより利益率は低下しました。売上高は17,667百万円(前年同期比2.9%減)、セグメント損失は61百万円(前年同期は665百万円の利益)となりました。

#### ② AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は1,217百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益は287百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

#### ③ その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。売上高は1,006百万円(前年同期比20.5%減)、セグメント利益は132百万円(前年同期比504.4%増)となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,795百万円(前年同期比4.0%減)、営業損失は26百万円(前年同期は566百万円の利益)、経常損失は209百万円(前年同期は340百万円の利益)、四半期純損失は207百万円(前年同期は154百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の減少を主な要因として前連結会計年度末と比較して4,860百万円減少し、20,339百万円となりました。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の減少を主な要因として前連結会計年度末と比較して4,657百万円減少し、15,574百万円となりました。

#### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の減少を主な要因として前連結会計年度末と比較して203百万円減少し、4,764百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月9日付の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社は、製品及び仕掛品の評価方法を総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）としておりましたが、第1四半期連結会計期間より月次移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更は、近年の原材料価格が短期間で変動している状況を勘案し、適正なたな卸資産の評価、期間損益計算を行うため、評価方法の見直しを行ったものであります。

当該会計方針の変更は、過去の連結会計年度に関するたな卸資産の評価の算定に必要な製品等の受払記録が一部入手困難であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を前連結会計年度において算定することが実務上不可能であるため、前連結会計年度の製品及び仕掛品の帳簿価額を第1四半期連結会計期間の期首残高として、期首から将来にわたり月次移動平均法を適用しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,365,803	2,136,085
完成工事未収入金	12,335	8,670
売掛金	402,680	430,798
販売用不動産	5,825,082	6,727,097
仕掛販売用不動産	8,869,910	4,876,333
未成工事支出金	2,652,297	1,672,705
商品及び製品	116,112	111,042
仕掛品	162,551	280,434
原材料	899,401	213,989
その他	489,866	649,045
流動資産合計	21,796,043	17,106,203
固定資産		
有形固定資産	2,746,440	2,600,846
無形固定資産	177,622	155,823
投資その他の資産	480,416	476,788
固定資産合計	3,404,478	3,233,458
資産合計	25,200,522	20,339,661
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,669,485	1,066,850
買掛金	672,819	251,983
1年内償還予定の社債	175,400	429,000
短期借入金	10,096,455	5,831,888
1年内返済予定の長期借入金	2,381,096	3,238,491
未払法人税等	92,438	61,964
賞与引当金	—	43,557
完成工事補償引当金	283,862	191,451
その他	750,377	658,139
流動負債合計	16,121,933	11,773,327
固定負債		
社債	363,800	215,700
長期借入金	2,512,673	2,430,365
退職給付に係る負債	2,025	2,091
役員退職慰労引当金	120,300	121,643
資産除去債務	15,595	15,721
その他	1,095,939	1,016,106
固定負債合計	4,110,334	3,801,627
負債合計	20,232,268	15,574,955

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,278,593	4,034,666
自己株式	△20,879	△20,879
株主資本合計	4,816,746	4,572,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	881	2,107
その他の包括利益累計額合計	881	2,107
少数株主持分	150,626	189,778
純資産合計	4,968,254	4,764,705
負債純資産合計	25,200,522	20,339,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	20,630,592	19,795,529
売上原価	17,885,188	17,702,956
売上総利益	2,745,404	2,092,573
販売費及び一般管理費	2,178,688	2,119,259
営業利益又は営業損失(△)	566,715	△26,686
営業外収益		
受取利息	194	121
受取手数料	15,551	13,031
違約金収入	—	900
その他	13,997	30,108
営業外収益合計	29,743	44,160
営業外費用		
支払利息	243,097	208,442
その他	12,784	18,132
営業外費用合計	255,881	226,574
経常利益又は経常損失(△)	340,576	△209,099
特別損失		
固定資産売却損	43	—
固定資産除却損	23	184
特別損失合計	66	184
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	340,509	△209,284
法人税等	150,779	△41,189
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	189,730	△168,094
少数株主利益	35,605	39,152
四半期純利益又は四半期純損失(△)	154,124	△207,246

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	189,730	△168,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	1,226
その他の包括利益合計	△81	1,226
四半期包括利益	189,649	△166,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,043	△206,020
少数株主に係る四半期包括利益	35,605	39,152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	18,199,296	1,246,340	1,184,956	20,630,592	—	20,630,592
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,920	1,475	81,158	86,554	△86,554	—
計	18,203,217	1,247,815	1,266,114	20,717,147	△86,554	20,630,592
セグメント利益	665,673	276,315	21,909	963,898	△397,183	566,715

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。  
2 セグメント利益の調整額△397,183千円には、セグメント間取引消去17,739千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414,923千円が含まれています。  
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	17,667,398	1,215,332	912,798	19,795,529	—	19,795,529
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	1,765	94,039	95,805	△95,805	—
計	17,667,398	1,217,098	1,006,837	19,891,335	△95,805	19,795,529
セグメント利益	△61,518	287,709	132,421	358,612	△385,298	△26,686

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。  
2 セグメント利益の調整額△385,298千円には、セグメント間取引消去12,977千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△398,275千円が含まれています。  
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。